



# 九条の樹

84号  
2020年5月発行



発行：東久留米「九条の会」 連絡先：Tel 042-473-9489 (鈴木)  
URL : <http://higashikurume-9.net> mail : [higashikurume9@jcom.home.ne.jp](mailto:higashikurume9@jcom.home.ne.jp)

## 新型コロナウイルス禍と憲法

矢倉久泰（副代表・滝山在住）

新型コロナウイルス感染症の流行で東久留米市も社会生活に影響を受けています。政府・東京都の政策で東久留米市も生涯学習センターのホールや会議室、市民プラザホール、各地区センター会議室の利用が出来なくなり、西部九条の会主催の講演会「八法亭みややつこの憲法噺」、キリスト者九条の会主催の講演会も開催できませんでした。図書館も休館、市民グラウンドや公園の使用も「自粛」が要請されています。これにより、私たちが憲法で保障された「集会の自由」「表現の自由」「学びの自由」などが規制されたこととなります。

安倍政権は、「集団感染を防ぐために」「三密」の順守を国民に求めています。「密閉」（換気が悪い）、「密集」（多くの人が密集し

て規制が出来るということとは、恐ろしいことです。

ている）。「密接」（互いに近距離での会話や発声をしない）この「三密」の三条件が同時に重なる場では、感染を拡大させるリスクが高いと考えられています。

安倍政権は、「緊急事態宣言」なるものを発し、都道府県に対して緊急事態措置を実施するよう指示しました。緊急事態宣言には・外出自粛の要請・教育機関や福祉施設などの使用停止要請・音楽やスポーツイベントの開催制限要請・臨時的な医療施設の土地や建物の強制使用（強制力および罰則あり）などのような措置が含まれています。政府・自治体が市民の行動を規制できるといいうことです。本来、市民のさまざまな自由の保障は民主主義国家として、基本的に重要なことです。それを国民の代表で構成される国会で審議、決定もせず、時の政権の政策によつ

て規制が出来るということとは、恐ろしいことです。

て規制が出来るということとは、恐ろしいことです。

安倍政権は「緊急事態宣言」に内閣が法律と同じ効力を持つ政令を出す仕組み、つまり統治に関わる法律内容を変更することが、時の内閣の権限でできてしまうこと（を盛り込んだ改憲を先取りしているとも取れます）。

安倍政権は新型コロナウイルス感染症対策のどこどこに紛れて憲法改正を目論んでいるとしたら、まさに火事場泥棒だと私は思います。

# 「民主主義とは何か 主権者であり続けるために」①

## 望月衣塑子さん（東京新聞記者）講演会——（二月二十四日）



2月24日（月）くらしを守る革新東久留米の会（東久留

米革新懇）主催、東京新聞現役記者、望月衣塑子さん講演会の要旨です。コロナ感染拡大に伴い、公共施設の使用ができなくなっている現在、ギリギリ開催できた講演会でした。

\*

東京新聞の望月衣塑子です。私の半生を書いた「新聞記者」という角川新書を原案に映画化したと、3年前に話がありました。主演に松坂桃李さん。映画を見た方はわかるのですが、この映画は安倍政権

を裏で支えていると言われる内閣情報調査室（内調）の闇を女性記者が暴いていく、そして内調に外部官僚として出向しながら、自分は官僚として誰のために何のために仕事をしているのかと、良心のかつどうに苦しむ役を松坂さんが演じています。

内調という組織は何をやっているのか。政府に批判的な市民や市民団体、私のようなジャーナリスト、メディア・リベラル派の官僚、政府に批判的な与党、野党内の日々の活動、言論状況をいろいろな形で特に公安警察のパイプを使って調べているセクシオンです。このセクシオンのトップに昨年8月まで北村滋さんという方が内閣情報官としていらっしやいました。映画では仲間由紀恵さんの旦那の田中哲司さんが役をやっている

のですが、実在する北村滋さんが昨年8月、新たな人事異動でNSCという国家安全保障局長に栄転されました。外交安全保障全般のトップです。前任者初代局長は外務官僚の谷地さんという方でした。谷地さんは今の秋葉事務次官を推していたのですが、これが安倍首相らに蹴られて北村さんに決まった。国内の監視体制を強化するぞということの表れではないかと思えます。この闇を描いたのが「新聞記者」という映画です。

### コロナ感染について

感染症の専門医である岩田健太郎先生がダイアモンドプリンセス号の船内の告発動画を出しました。100万回再生されたそうです。私は岩田先生に電話でインタビューできました。先生はアフリカの工

ボラ出血熱とか中国のサーズ等々の感染症の現場に呼ばれて活躍されましたが今回ほど危険を感じたことはなかったと証言しています。感染の危険ゾーンと安全ゾーンの区分けがないので医療スタッフの安全が保証されていない。厚生労働省の役人で感染症専門でない人が現場のトップをしている。クルーズ船で検査をして陰性の人も隔離しないで、そのまま帰ってしまった。などを告発しています。菅官房長官は質問されて「これでいいのだ、心配ない。」と言ってしまった。その後、厚労省職員を含め発症する人が続出してしまいました。

検査体制もひっ迫していて専門医から要請されても保健所はできない、と言われるそうです。検査が少ないと市中感染がさらに広がる危険があります。

### 伊藤詩織さんの事件

去年年末に民事で勝利判決

ができました。伊藤詩織さんは元TBSワシントン支局長から受けた性的暴行を訴えました。私は3年前の彼女の告発にショックを受けました。名前を出して訴えるというのも相当な勇気だと思えますし、訴えた相手が当時安倍総理に最も食い込む記者として時の人だった山口記者を訴えるということは、彼の背後にいる安倍総理や官邸を一気に敵に回すだろうというすごい覚悟で彼女が出てきたということだと思います。彼女の告発の後、検察審査会で刑事告発できないという結論になり、民事裁判で訴え2年間審理されました。東京地裁は伊藤さんの言い分を認め山口さんに330万円の慰謝料支払い命令を出しました。

伊藤さんの訴えは国際的にも大きな弾みとなり、アメリカの女優らによる性被害訴えも起こされています。

## 桜を見る会

桜問題ではさすがに多くのマスコミが批判的でした。菅官房長官への記者会見で日本テレビの若手の記者がホテルの自民党安倍後援会のパーティーについて「問い合わせたところ一人5千円ではできないと言いわれましたがどうですか」と聞くと、菅さん怒りました。「私は安倍事務所のものじゃないからわからないが、5千円でできるんじゃないか」といっていました。

安倍総理の会見もありましたが、そのころホテルニューオータニの広報担当者が議員会館に呼び出され、安倍総理の秘書と話し合いを持ったことが分かっていきます。その後ホテル側は一切「個別案件に答えられない」と言うようになつたのです。

## 望月記者に対する攻撃

3年前から菅さんの会見に行くようになりました。詩織さんの問題、森友問題をやっているとき、安倍さんの会見

に行かせてほしいと、社の政治部長に頼みましたが「お前見ててもわかるだろう。国会でも野党の質問にまともに答えたためしがない」。番記者による官邸会見も激減しています。昨年4回、おとしは3回です。毎回受け付ける質問は5問程度。指す記者、質問、答え全部台本どおり決まると言われています。東京新聞の記者でも政治部幹事でないといけない。私も何回か目立つ赤いワンピース着て(笑)「はい！はい！」といっても指されないです。NHKのある政治部の記者は手もあげてないのに指されてとか(笑)。神保哲夫さんというビデオジャーナリストも指されない。5年目に「最後の質問です。いませんか」というので手をあげてたら「いないようなので終わります」(笑)と。官邸の前

のぶら下がり会見ありますが、あれもほぼ言いつばなしです。あそこにいるのは番記者のみです。

当時菅さんの会見は、アメリカ国務省の会見に倣いまして記者の質問が終わるまで指し続けるルールでした。私その他にもしつこい記者がいます。指し続けてくれました。それが2ヶ月ぐらい続いたのですが嫌になつたのかそれまでも顔も見ないで答えてたんですが(笑)突如私たちが手をあげても打ち切られるようになりました。

取材してみるとその数週間前今井たかやさん、党の一等秘書官、今は補佐官、影の総理という実力者です。安倍さんの首相答弁は彼がチェックしているといわれます。彼が自分の番記者とのオフレコ懇談で「望月と朝日の南はこのままだと官房長官が辞めるまで聞き続けるつもりだぞ。お前ら10年目の記者だろ何とかならんのか」相談したということです。ある政治部記者が「お前こんなこと言われてるぜ」とメモをくれました。

# 聞いてくたさい

## おうちの電気、 選べます！

古谷高子（浅間町）

大手電力会社ではなく、自然エネルギーの新電力に切り替えませんか？手続きは簡単！  
パワーシフトの紹介ページ「power-shift.org」を参考に電力会社を選び、これまでの電力会社の請求書を準備。電話やウェブサイトですべて申し込みます。工事は一切なく、手間なしです。申込先の電力会社が、手続きしてくれます。あなたも是非！

## 国家を守る？ 公務員

大山智子（下里）

今、地球全体が一つの国として、見えない敵と戦わねばならない時だと思えます。国同士の争いなどしていたら、たちまちウイルスの餌食にされてしまいます。そんな時に街で見かけたポスターにぞっとさせられました。「国家を守る、公務員。」その言葉に戦前のポスターのように感じられ、恐ろしささえ感じました。国民の税金からなる公務員が、国民を守るのではなく国家を守るということはどういう事なのか？



懸命に働いた国民の税金で国が成り立っています。収めた税金は何のためにあるのか、一人一人のより良い生活ができるようにあるべきものです。国民が国家を守るのではなく、国が一人一人の国民を守る、今まさに、税金を一人一人の命を救うために使うべき時だと思えます。今ほど国政の舵取りが問われている時はなると思っています。マスクやくつろいでいる動画など目の前の人気取りに捉われず、グズグズ、オロオロ、ビクビクせず、命を守るにはどうしたら良いのかを真剣に考えて欲しい時です。

## お知らせ

東久留米「九条の会」では、新型コロナウイルスの感染拡大や拡散防止のため、「15周年記念のつどい」6月28日（日）生涯学習センター（講師・浜矩子）は、感染拡大の危険のある大規模集会は開催できなとを考え、延期（期日未定）を決定致しました。

また、世話人会につきましては、メール、ファックス等で意見交換をすることとし、できるだけ接触を避ける、「9の日宣伝」や九条の会として取り組むべきことを、例えばスタンディングなど、今の状況下でできることを考えていきたいと思えます。

皆様のご意見を事務局までお寄せください。

Tel/Fax・473-9489（鈴木）

メール・

higashikurume9@com.home.ne.jp